



楽しかったね！七夕会

児童デイでは毎年、7月7日に近い週で七夕会を行っています。自閉症の方たちはその行事の意味を理解することが難しく、関心を持ってないといわれる時代もありましたが、毎年恒例と位置付けることで、季節の行事もみんなのなかに自然に定着しています。まごころでは・・・

- ① 七夕の話のペープサートをみる
 - ② ペープサートをやってみる
 - ③ うたをうたう
 - ④ 願い事を短冊に書いて発表する
- というプログラムで行っています。なかでも、②の実際にスタッフと一緒にやってみよう！プログラムは、ほとんどの子が「やりたい！」と手をあげ、とても盛り上がります。



そして、最後に願い事を発表しておしまいです。今年の願い事は・・・会社で働く人になりたい・病院で働きたい・野球の選手になりたい・・・など、夢と希望にあふれるものが多かったです！！



デイサービス通信

ジェスチャー



昔、白黒テレビの時代に「柳家金語楼」という落語家が、とてもユニークな『ジェスチャー』を演じていたのを思い出し、デイサービスのレクレーションに取り入れています。

始めは恥ずかしそうな利用者さんも、演じても答えの声が中々出てこない、熱が入って「そうじゃないの！」とつい口を出してしまったりします。

なかでもKさんはとても表情が豊かで、ことばの成り立ちから演じてくれます。「ラーメン」の題に、麺を茹でる→テーブルに持ってくる→食べるしぐさ→チャルメラの恰好・・・)

あまり表情に乏しく、同じしぐさばかりの利用者さんには、周りからは「もっとやって！」の声がかかったりします。演じる方も、答える方も必死な思いが伝わってきます。

一人一人の『ジェスチャー』が皆の前で主役を演じてくれます。利用者さんもスタッフも一緒になって楽しんでいます。

7月は皆で作った笹飾りを『一宮七夕まつり』の「市民七夕飾りつけコンクール」にも飾りました。猛暑の中、頑張ってデイサービスに来られる利用者さんが大勢みえます。



消しゴムハンコで涼やかなハンカチ作り

心づれづれ



MGK「まごころ楽団」誕生

まごころ設立20周年記念事業である、ふれあい祭りを盛り上げる企画として、このたびMGK「まごころ楽団」を結成しました。メンバーは、まごころOB&OG+第一線で活躍されているヘルパーさんらとの総力を結集した混成チームです。

演目としては、●手話合唱 ●リズム演奏 ●コーラス等を予定していますが、さてどうなりますことやら？

4月の結成から毎月2回練習を重ねてきました。私もOBの一員として頑張っていますが、このところカラオケもご無沙汰気味です。歌は、日頃からコンスタントに歌っていないと音域も狭まり、演歌のワンフレーズがやっとならぬ、練習日が来るたびに歯がゆい思いをしています。

なかでも手話合唱が、これまた大変で「歌詞・リズム・手の動き」の三つが合わせなければなりません。11月3日の本番までに残された時間は3ヶ月。

記念すべき20周年事業に、少しでも「いんどり」が添えられることを願って、楽しくも厳しいメンバーの特訓がつづきます。みなさん頑張りましょう。

賛助会員 築城久子



まごころ楽団
毎月第2、4土
曜日の午後一時
～三時までまご
ころ広場で練習
やっています！

ヘルパーだまり

NO. 15

A 子さんが一宮市の福祉課から紹介されて事業所に来所されたのは花々が咲き乱れる4月12日のことであった。ご夫婦の共通の趣味が山登り、山歩きで、去年は体調を崩し計画を断念したが、長年の希望であり憧れの地、スイスに今年こそ夫婦で出かける予定をたてたが、心配なのは一人残る84歳の同居の舅、B 夫さんの事であるとのこと。ご近所に頼める方も身内もいない。1日に一度でいいから安否確認をお願いしたいとのこと。

比較的距離在住のヘルパーが「いいですよ」と快諾してくれたため、6月27日に訪問しお会いする。

玄関でB 夫さんがニコリと迎えてくださりホッとします。食事は冷凍してあるものを電子レンジで温め、自分で何とかするから良いと言われ、84歳には見えないような方であった。6月27日から7月5日までの9日間、安否確認の為に17時30分から30分の在宅支援で訪問した。

在職時代のこと、年金のこと、亡くなられた奥様のこと、趣味のこと、阪神タイガーズのことなど等、日替わりで話しに花が咲き、あっという間に30分のケアが終了したという9日間であった。

A 子さんご夫婦はスイスの旅が「お蔭様で安心して楽しんできましたわ」と満面の笑顔であった。



ご家族からのことば・・・

「定年したら二人でスイスへ」という夢がお陰様でかなえる事ができました。

本当に感謝しております。ありがとうございました。

